

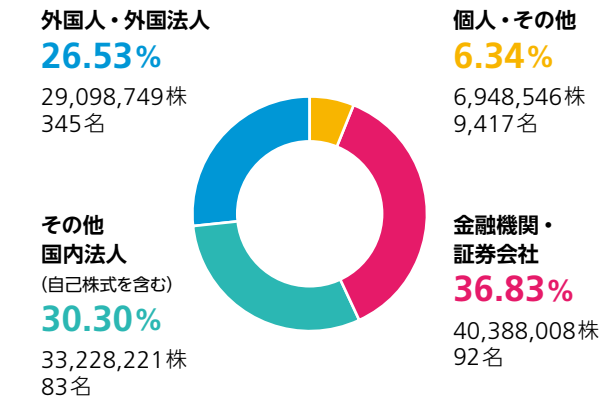
株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行済株式総数 109,663,524株

株主総数 9,937名

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大日本印刷株式会社	20,727	20.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	14,542	14.46
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	14,289	14.21
三井物産株式会社	2,448	2.43
農林中央金庫	2,326	2.31
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,818	1.80
株式会社かんぽ生命保険	1,710	1.70
BIPROGY従業員持株会	1,530	1.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・三菱電機株式会社口)	1,271	1.26
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,150	1.14

- *1 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。
- *2 当社は自己株式9,160,560株を保有していますが、当該株式には議決権がないため、上記大株主からは除外しています。
- *3 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日祝日および12/31～1/3を除く)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 https://www.biprogy.com/com/notification/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード8056)

- 証券会社に口座を開設されている株主様が、ご住所等の変更や単元未満株式の買取その他の各種お手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。
- 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行にお申し出ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は「株式に関するよくあるご質問 (Q&A)」サイト (https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal) にてご確認いただけます。

- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。
- お届出が済んでいない株主様は、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いいたします。

本冊子に記載の会社名、商品名およびシステム名は、各社の商標または登録商標です。
Copyright © 2023 BIPROGY Inc. All rights reserved.



Forest Stewardship Council® (森林管理協議会) の基準に基づき認証をされた、適切に管理された森林からの材料およびその他の管理された供給源からの材料を含む FSC® 認証紙を使用しています。



印刷時に、VOC (揮発性有機化合物) などを含む湿し水が不要なる水なし印刷を採用し、大気安全に配慮しています。



石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたベジタブルインキを使用し、VOC (揮発性有機化合物) を削減し、大気安全に配慮しています。



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまがえにくいデザインの文字を採用しています。



Foresight in sight

● 株主の皆様へ

信頼回復に
全力で取り組むとともに、
社会的価値創出企業への
変革を加速します

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

はじめに、2022年6月に発生しましたUSBメモリー紛失事案につきましては、多大なご迷惑とご心配をお掛けしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。再発防止および信頼回復のための取り組みにつきましては、同年12月に受領した、第三者委員会による調査結果報告書の内容を、社長の私をはじめ、すべてのBIPROGYグループ従業員が真摯に受け止め、提言も踏まえた再発防止策*の徹底を図り、セキュリティ対策および委託先の管理・監督の強化に向けて引き続き取り組んでいます。

当社グループは、「Purpose」および「Vision 2030」のもと、社会的価値の創出を通じて、グループ全体の企業価値を持続的に向上させるための新たなステージに向けて策定した「経営方針 (2021-2023)」に基づく取り組みを推進しています。そうしたなか、当方針の2年目となる2023年3月期の業績は、デジタルトランスフォーメーション (DX)



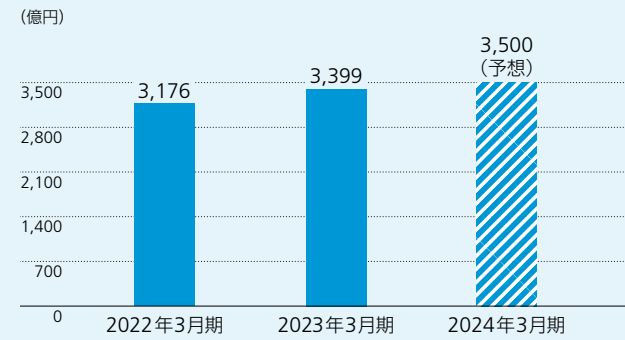
2023年6月
代表取締役社長

平岡昭良

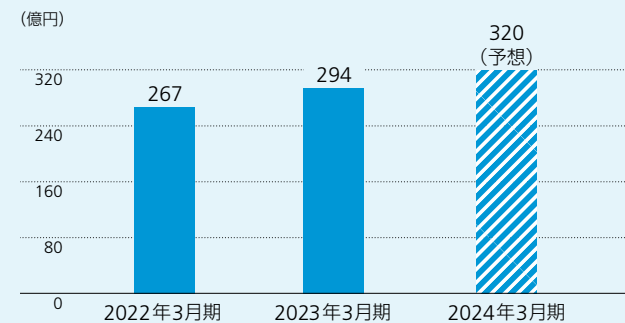
* USBメモリー紛失事案に関する当社の対応の詳細はこちら (https://www.biprogy.com/com/info_security/info202206.html) をご参照ください。

● 業績ハイライト

売上収益

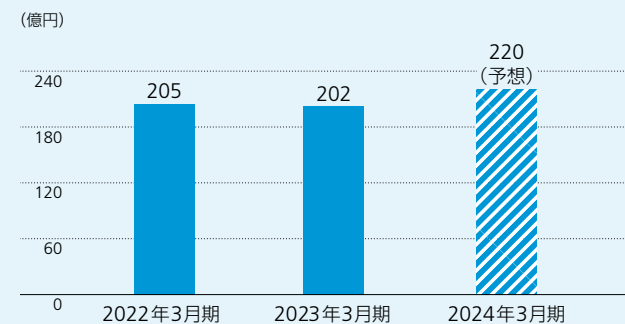


調整後営業利益*



* 調整後営業利益=売上収益-売上原価-販売費及び一般管理費

親会社の所有者に帰属する当期利益



2023年3月期 連結決算のポイント

業績のポイント

売上収益は、システムサービスが好調に推移した結果、3,399億円(前期比7.0%増)となりました。利益面は、販管費が増加したものの、システムサービスの増収や収益性の向上等により、営業利益は297億円(同8.2%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は、金融収益の減少等により202億円(同1.4%減)となりました。

なお、当社グループが業績管理指標として採用している調整後営業利益は、294億円(同10.2%増)となりました。

財務のポイント

総資産は、営業債権及びその他の債権、契約資産並びに無形資産の増加等により、前期末比117億円増加の2,804億円となりました。負債は、リース負債等が減少した一方、契約負債等が増加したことにより、同8億円増加の1,388億円となりました。資本は1,416億円となり、親会社所有者帰属持分比率は同1.9ポイント上昇し、49.9%となりました。

2024年3月期 業績予想と配当計画

2024年3月期の売上収益は、3,500億円を計画しています。利益面は、営業利益325億円、親会社の所有者に帰属する当期利益220億円をそれぞれ計画しています。なお、調整後営業利益は、320億円を計画しています。

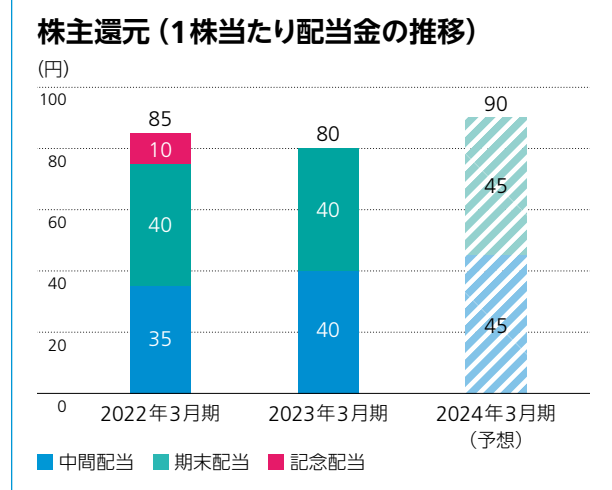
2024年3月期の配当は、親会社の所有者に帰属する当期利益予想220億円を前提に、当期より10円増配の1株当たり年間90円(中間45円、期末45円)を計画しています。

業績の推移 (百万円)

	2022年3月期	2023年3月期
売上収益	317,600	339,898
売上総利益	83,138	89,350
販売費及び一般管理費	56,466	59,955
営業利益	27,425	29,673
親会社の所有者に帰属する当期利益	20,490	20,203
調整後営業利益	26,671	29,394

財務の推移 (百万円)

	2022年3月期末	2023年3月期末
流動資産	158,056	164,650
非流動資産	110,590	115,745
資産合計	268,647	280,396
流動負債	98,148	98,940
非流動負債	39,823	39,858
負債合計	137,972	138,798
資本合計	130,674	141,597
負債及び資本合計	268,647	280,396



株主通信 トピックス

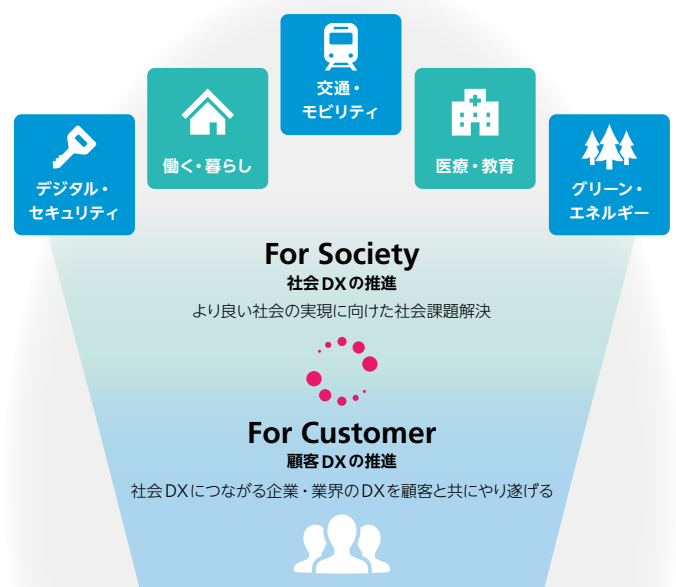
BIPROGYグループの社会的価値創出への取り組み

～「経営方針(2021-2023)」において、顧客DXから社会DXへつながるビジネスを展開～

BIPROGYグループは、「Purpose」および「Vision 2030」のもと、社会的価値の創出を通じて、グループ全体の企業価値を持続的に向上させるための新たなステージに向けて策定した「経営方針(2021-2023)」に基づく取り組みを行っています。中長期の成長に向けては、お客様の持続的成長に貢献する顧客DXの推進「For Customer」での豊富な知見をもとに、各業種・業界のお客様、パートナーと共に社会課題解決を進める社会DXの推進「For Society」への取り組みを展開しています。

「経営方針(2021-2023)」の2年目である2023年3月期は、顧客DXから社会DXへつながるビジネスが増加しており、更なる社会的価値創出を目指しています。

顧客DXから社会DXにつながるビジネスを展開



For Customer 取り組み事例

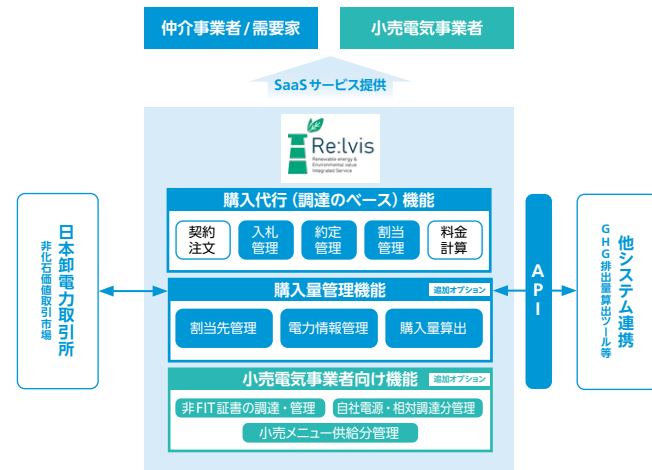
環境価値管理サービス「Re:lvivis」を提供開始

～非化石証書の調達・管理効率化の支援により社会のカーボンニュートラル実現に貢献～

カーボンニュートラル実現の手段の一つとして、環境価値活用によるオフセットが注目されるなか、当社は、環境価値管理サービス「Re:lvivis(リルビス)」の提供を2022年11月に開始しました。環境価値の中でも非化石証書は、従来の小売電気事業者による提供に加え、2021年11月からは需要家による証書の直接調達および民間事業者による仲介事業が可能となり、取引市場の更なる拡大が見込まれます。本サービスは、非化石証書の管理業務のデジタル化を行うことで、非化石証書の調達・入札・割当の効率化を支援するSaaS*サービスです。

当社は、本サービスの提供を通じて、社会のカーボンニュートラルの早期実現に貢献します。

* Software as a Serviceの略称



For Society 取り組み事例

住宅業務ソリューション「DigiD Prism」を提供開始

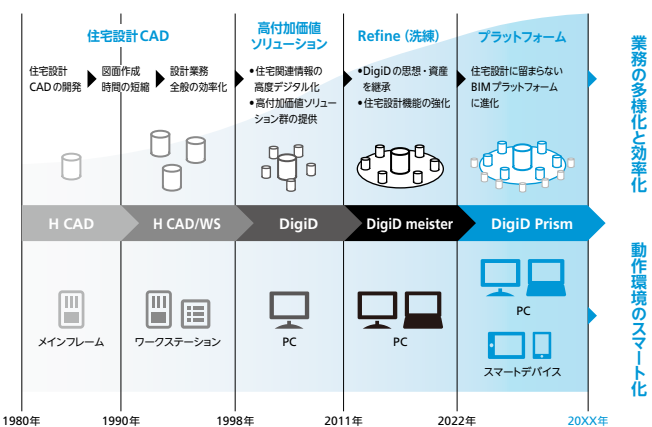
～住環境の最適化を実現し、誰もが幸せに暮らせる社会づくりに貢献～

当社は、約40年にわたり、国産の住宅設計CAD*1システムを大手ハウスメーカー中心に提供してきた知見をもとに開発した、「DigiD Prism(デジドプリズム)」の提供を2023年3月に開始しました。本サービスは、AIなどの最新技術の活用を含めたCADシステムの機能強化に加え、住宅産業に関わる企業間のデータ連携により、外部事業者との連携効率化を図り、住宅ライフサイクルを統合的に管理できるBIM*2プラットフォームに進化しています。

当社は、本サービスの提供を通じて、住宅オーナーとの関係性強化による住環境の最適化を実現することで、誰もが幸せに暮らせる社会づくりに貢献します。

*1 CAD: Computer Aided Designの略称 *2 BIM: Building Information Modelingの略称

BIPROGYの住宅設計CADシステム提供の変遷



お知らせ

健康経営優良法人2023(ホワイト500)に認定

健康経営優良法人認定制度は、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する、優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。当社および当社グループのユニアデックスは、それぞれ大規模法人部門において、健康経営優良法人2023(ホワイト500*)に認定されました。今後も当社グループは、健康経営の推進により従業員のウェルビーイング*2を高めることで、生産性や創造力の強化を通じた企業価値の向上を目指します。

*1 「健康経営優良法人(大規模法人部門)」として認定された法人のうち、評価が高い上位500法人が「ホワイト500」として認定される。

*2 精神的・身体的・社会的に良好で幸せな状態のこと



公式アプリ 「BIPROGY TERASU」のご案内

BIPROGYグループのデジタルメディア「BIPROGY TERASU」。「まだ見ぬ世界を、照らします」をコンセプトに多彩なコンテンツをお届けします。通勤時や外出先でも最新記事を簡単にチェックできる公式アプリもご用意しています。

